

アステラス製薬とPoseida がん領域における他家細胞医療プログラムの開発に向けた 共同研究およびライセンス契約を締結

- Poseida独自の他家CAR-T細胞を用いる、固形がんを対象とした革新的な
convertibleCAR[®]細胞プログラムの研究開発 -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長CEO:岡村 直樹、以下「アステラス製薬」)は、完全子会社であるXyphos Biosciences, Inc.(本社:米国カリフォルニア州、以下「Xyphos」)を通じて、Poseida Therapeutics, Inc. (本社:米国カリフォルニア州、CEO: Kristin Yarema、「Poseida」)と、両社の革新的な細胞医療プラットフォームを組み合わせた新規convertibleCAR[®]細胞プログラムに関する共同研究およびライセンス契約を締結しました。

Poseidaは、特定のがんや希少疾患を対象とした細胞医療および遺伝子治療プログラムを有するバイオ医薬品企業です。がん領域では、アンメットメディカルニーズの高い固形がんおよび血液がんを対象とする複数の他家CAR-T細胞プログラムの開発を実施しています。Xyphosは、convertibleCAR[®]* (Chimeric Antigen Receptor:キメラ抗原受容体)細胞と、がん細胞を標的とするMicAbody*¹を組み合わせた独自技術プラットフォームであるACCEL[™]技術*¹を有しています。

今回の契約により両社は、Poseidaが開発した他家CAR-T細胞プラットフォームと、XyphosのACCEL[™]技術を融合することにより、他家convertibleCAR[®]細胞を作成し、2つの固形がんを対象としたプログラムの創出を目指します。本共同研究から創出された製品の開発および商業化は、Xyphosが担います。Xyphosは、契約一時金として5,000万米ドルを支払います。さらに、プログラムの進捗に応じた最大5億5,000万米ドルのマイルストーンに加えて、最大2桁%前半の売上高に応じたロイヤルティーをPoseidaに支払う可能性があります。XyphosはPoseidaが実施する本共同研究に関する費用を負担します。

今回の契約について、PoseidaのPresident and CEOであるKristin Yaremaは、「私たちは、最先端のオフ ザ シェルフ*2細胞医療が、アンメットメディカルニーズの高い固形がんの治療選択肢になり得るというビジョンを共有するアステラス製薬と、コラボレーションを拡大できることを大変嬉しく思います。本契約は、他家CAR-T細胞における当社の存在感の大きさを示すものであり、私たちの卓越した非ウイルス技術の価値がさらに向上し、Poseidaのコアパイプラインを越えた領域における治療薬の開発が可能になると考えています」と述べています。

アステラス製薬の経営戦略担当CStO(Chief Strategy Officer)のAdam Pearsonは、「アステラス製薬は、研究開発戦略であるFocus Areaアプローチの中で、特に注力しているPrimary Focusの一つに『がん免疫』を掲げています。私たちはがん領域における幅広い専門知識、経験、独自の技術を活かし、より多くの患者さんのがんを発見、無害化、破壊できるように、免疫システム機能を再活性化することに注力しています。Poseidaの最先端の遺伝子編集プラットフォームとアステラス製薬のACCEL™技術が相乗効果を発揮し、アステラス製薬のポートフォリオが拡大し、革新的なCAR-T細胞療法をがん患者さんに届けられることを期待しています」と述べています。

2023年8月、アステラス製薬とPoseidaは、がん領域の細胞医療に関する戦略的投資を含む提携に関する契約を締結しています。

本件によるアステラス製薬の業績への影響は、通期(2025年3月期)連結業績予想に織り込み済みです。

以上

*1 ACCEL™技術およびconvertibleCAR®: Xyphos独自のACCEL™技術は、タンパク工学により創製した受容体とリガンドタンパクの特異的な結合を利用した合成生物学的手法に基づいています。受容体を発現させたナチュラルキラー(NK)細胞やT細胞といった免疫細胞(convertibleCAR®細胞)と、攻撃標的であるがん抗原を認識する抗体をリガンドタンパクと融合させた抗体-リガンド融合タンパク(MicAbody)を患者さんに投与し、治療する技術です。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

*2 オフ ザ シェルフ: 既製品化し、必要な時にすぐに使用可能な製剤

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界70カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Areaアプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑

戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

Xyphos Biosciences, Inc.について

Xyphos Biosciences, Inc.は、米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコを拠点とし、CAR-免疫細胞療法に関する技術プラットフォームである ACCEL™ 技術を特徴とする会社です。同社は、2017 年に設立され、2019 年 12 月にアステラス製薬が買収し、アステラス製薬の完全子会社となりました。Xyphos Biosciences, Inc.の詳細については、(<https://www.xyphosinc.com/>)をご覧ください。

Poseida Therapeutics, Inc. について

Poseidaは臨床段階に、特定のがんや希少疾患の治療が可能な、複数の差別化された細胞および遺伝子治療プログラムを有するバイオ医薬品企業です。パイプラインには、固形がんと血液がんを対象とした他家CAR-T細胞プログラムのほか、アンメットメディカルニーズの高い患者さんを対象とした遺伝子治療プログラムが含まれています。Poseidaの細胞および遺伝子治療への取り組みは、独自のGMP細胞治療薬の製造だけでなく、非ウイルス型piggyBac®DNAデリバリーシステム、Cas-CLOVER™ Site-Specific Gene Editing System、Booster分子、ナノ粒子遺伝子送達技術、独自のGMP細胞治療薬の製造など、独自の遺伝子編集プラットフォームに基づいて実施されています。また、Poseidaはロシユと血液がんを対象とした細胞医療に関するグローバルな戦略的提携を締結しています。詳細は、www.poseida.com、[Twitter](#)、[LinkedIn](#)をご覧ください。

注意事項(アステラス)

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i)医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii)為替レートの変動、(iii)新製品発売の遅延、(iv)新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v)競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi)第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

広報

TEL: 03-3244-3201